

2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2022年2月14日

上場会社名 株式会社アルマード 上場取引所 東
 コード番号 4932 URL <https://www.almado.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 荒西 俊和
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理・企画管掌 (氏名) 藤 博雅 TEL 03(4334)1126
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2022年3月期第3四半期の業績（2021年4月1日～2021年12月31日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	4,130	23.2	621	45.4	624	43.4	432	46.8
2021年3月期第3四半期	3,351	-	427	-	435	-	294	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	42.88	42.02
2021年3月期第3四半期	29.34	-

- （注）1. 当社は、2020年3月期第3四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、2021年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。
 2. 2022年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、当社は2021年6月24日に東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）に上場したため、新規上場日から当第3四半期会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	3,645	2,792	76.6
2021年3月期	2,984	2,317	77.6

（参考）自己資本 2022年3月期第3四半期 2,792百万円 2021年3月期 2,317百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2022年3月期	-	0.00	-	-	-
2022年3月期（予想）	-	-	-	40.00	40.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2022年3月期の業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,300	16.5	820	55.7	819	52.5	556	51.4	55.31

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご確認ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	10,394,000株	2021年3月期	12,000,000株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	284,000株	2021年3月期	1,970,000株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	10,076,291株	2021年3月期3Q	10,030,000株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による経済活動の制限が徐々に緩和されつつあるものの、企業収益や雇用情勢においては引き続き持ち直しの動きに弱さがみられるなど、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況において、当社は3つの経営ビジョンの下(※1)、卵殻膜商品の更なる認知度向上を狙った広告運用強化等により、直販の新規顧客獲得が好調であったほか、外販ではOEM先への出荷が前年同期比で増加する等、順調に推移しました。

その結果、当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高4,130,418千円(前年同期比23.2%増)、営業利益621,323千円(前年同期比45.4%増)、経常利益624,046千円(前年同期比43.4%増)、四半期純利益432,101千円(前年同期比46.8%増)となりました。

※1・先進諸国に到来する高齢化社会において、人々の健康、若さ、そして美しさの維持・向上による“生活の質”の向上という根源的なニーズに、“卵殻膜”を通じて貢献する。

- ・卵殻膜の多機能な効果及び効能を科学的に解明し、常にユニークで最高品質の商品開発にこだわり、それを世界に提供する。
- ・“卵殻膜”で、美容と健康分野において、新しい価値観を浸透させる。

なお、当社は卵殻膜ヘルスケア事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の開示は行っておりませんが、売上高の販売チャネル別の内訳は、以下のとおりであります。

区分	前第3四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)		増減額 (千円)	前年同期比 (%)
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)		
TV通販	1,072,819	32.0	1,092,017	26.4	19,198	1.8
外販 (一般流通)	186,523	5.6	192,500	4.7	5,977	3.2
外販 (OEM販売) ※2	771,421	23.0	1,305,490	31.6	534,068	69.2
直販 (EC)	1,320,816	39.4	1,540,410	37.3	219,593	16.6
合計	3,351,580	100.0	4,130,418	100.0	778,837	23.2

※2 OEM販売額のうち、インターネット販売を主としているOEM先への売上高

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末の流動資産は3,473,933千円となり、前事業年度末と比較して686,388千円増加しました。これは主に、受取手形が306,265千円、売掛金が385,898千円増加し、現金及び預金が283,979千円減少したことによるものです。固定資産は171,376千円となり、前事業年度末と比較して25,977千円減少しました。これは主に、ソフトウェアが11,792千円増加し、ソフトウェア仮勘定が10,945千円、繰延税金資産が21,256千円減少したことによるものです。

以上の結果、総資産は3,645,310千円となり、前事業年度末と比較して660,410千円増加しました。

(負債)

当第3四半期会計期間末の流動負債は821,468千円となり、前事業年度末と比較して180,954千円増加しました。これは主に、買掛金が242,866千円増加し、未払法人税等が50,156千円、未払消費税等が31,015千円減少したことによるものです。固定負債は31,267千円となり、前事業年度末と比較して4,114千円増加しました。これは主に、退職給付引当金が4,785千円増加し、リース債務(長期)が670千円減少したことによるものです。

以上の結果、負債合計は852,735千円となり、前事業年度末と比較して185,069千円増加しました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産は2,792,574千円となり、前事業年度末と比較して475,341千円増加しました。これは主に、自己株式が337,200千円減少し、利益剰余金が107,511千円増加したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2021年6月24日の上場時に開示した2022年3月期（2021年4月1日～2022年3月31日）の業績予想を修正することとしました。

詳細につきましては、本日（2022年2月14日）に公表しました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,133,270	849,291
受取手形	205,178	511,444
売掛金	659,737	1,045,636
商品	583,366	799,389
貯蔵品	157,444	198,284
前払費用	36,502	57,281
その他	12,569	13,551
貸倒引当金	△524	△944
流動資産合計	2,787,545	3,473,933
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	22,158	20,750
工具、器具及び備品（純額）	37,859	36,633
リース資産（純額）	3,239	2,631
有形固定資産合計	63,256	60,015
無形固定資産		
特許権	4,279	2,139
商標権	1,626	1,438
ソフトウェア	17,832	29,624
ソフトウェア仮勘定	10,945	-
無形固定資産合計	34,683	33,203
投資その他の資産		
繰延税金資産	73,445	52,188
差入保証金	10,269	10,269
敷金	15,688	15,688
その他	10	10
投資その他の資産合計	99,414	78,157
固定資産合計	197,353	171,376
資産合計	2,984,899	3,645,310

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	197,162	440,028
短期借入金	70,000	70,000
リース債務	866	889
未払金	104,341	115,460
未払費用	14,650	21,469
未払法人税等	184,887	134,730
未払消費税等	38,716	7,700
預り金	3,275	6,580
賞与引当金	22,065	9,959
その他	4,548	14,648
流動負債合計	640,513	821,468
固定負債		
リース債務	2,792	2,122
退職給付引当金	24,360	29,145
固定負債合計	27,152	31,267
負債合計	667,666	852,735
純資産の部		
株主資本		
資本金	110,000	110,000
資本剰余金	-	30,630
利益剰余金	2,601,232	2,708,744
自己株式	△394,000	△56,800
株主資本合計	2,317,232	2,792,574
純資産合計	2,317,232	2,792,574
負債純資産合計	2,984,899	3,645,310

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	3,351,580	4,130,418
売上原価	1,206,012	1,528,339
売上総利益	2,145,568	2,602,079
販売費及び一般管理費	1,718,139	1,980,756
営業利益	427,428	621,323
営業外収益		
受取利息	2	5
助成金収入	8,000	-
雑収入	208	3,288
営業外収益合計	8,211	3,293
営業外費用		
支払利息	443	333
為替差損	-	224
雑損失	36	12
営業外費用合計	479	570
経常利益	435,160	624,046
税引前四半期純利益	435,160	624,046
法人税、住民税及び事業税	125,082	169,191
法人税等調整額	15,817	22,753
法人税等合計	140,900	191,944
四半期純利益	294,259	432,101

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年4月15日開催の取締役会に基づき、2021年4月15日付で、自己株式1,606,000株の消却を実施いたしました。これにより、利益剰余金が321,200千円、自己株式が321,200千円それぞれ減少しております。また、当社は、2021年6月24日に東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)に上場し、上場にあたり自己株式50,000株の処分を実施いたしました。これにより、資本剰余金が30,480千円増加し、自己株式が10,000千円減少しております。さらに、当社は、2021年9月17日に新株予約権の行使に伴う自己株式30,000株の処分を実施いたしました。これにより、資本剰余金が150千円増加し、自己株式が6,000千円減少しております。

この結果、当第3四半期会計期間末において資本剰余金が30,630千円、利益剰余金が2,708,744千円、自己株式が56,800千円となっております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下、「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。これにより、TV通販売上について一時時点で売上を計上しておりましたが、商品到着後30日間は返品保証義務が生じることから、返品相当額については、その保証期間経過後に収益を計上する方法に変更しており、返品資産を流動資産の「その他」及び返金負債を流動負債の「その他」に含めて表示しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

収益認識会計基準等の適用による、当第3四半期累計期間の損益及び期首利益剰余金に与える影響は軽微であります。

なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前事業年度について新たな表示方法による組替えを行っておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

当社は、卵殻膜ヘルスケア事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

自己株式の取得について

当社は、2022年2月14日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式の取得に係る事項について決議いたしました。

(1) 自己株式の取得を行う理由

現下の業績動向と内部留保の充実度を鑑み、資本効率の向上を図るため。

(2) 自己株式の取得に関する取締役会の決議内容

①取得する株式の種類

普通株式

②取得する株式の総数

600,000株(上限)

③株式の取得価額の総額

300百万円(上限)

④取得の期間

2022年2月15日～2022年3月31日

⑤取得の方法

東京証券取引所における市場買付